



受付第02A1944号
受付日：平成14年10月16日

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成14年12月13日

財団法人 建材試験センター
中央試験所長 勝野中幸
埼玉県草加市稲荷5丁目21番20号

試験名称	床合板を介した木造建築用接合金物の引張試験
依頼者	会社名：株式会社 カ ナ イ 所在地：埼玉県八潮市西袋717番1号
試験体	1. 接合金物 名称：木造建築用柱仕口金物 商品名：ホールドコーナー HC-10 用途：柱の仕口に使用する金物（中柱型） 寸法：図-3参照 材質：SUS430 CS (JIS G 4305) 表面処理：ダクロタイズド処理 2. 接合具 柱側木ねじ：3#角ビット皿スクリュー 6-φ6.0×60mm（ねじ部の長さ45mm） 谷の径；4.5mm，ねじ山のピッチ；2.7mm，ねじ先の形状；切り刃先 土台側木ねじ：3#角ビット皿スクリュー 7-φ6.0×90mm（ねじ部の長さ45mm） 谷の径；4.5mm，ねじ山のピッチ；2.7mm，ねじ先の形状；切り刃先 材質：SWRCH22A (JIS G 3507) 相当品であり，下記の化学成分を満足する。 C(0.18~0.23%)，Si(0.10%以下)，Mn(0.70~1.00%) P(0.030%以下)，S(0.035%以下)，Al(0.02%以上) 表面処理：ダクロタイズド処理 3. 使用軸組等 柱：樹種；すぎ，寸法；105×105mm，含水率；8.9~13.4%，密度；0.46~0.51g/cm ³ 土台：樹種；すぎ，寸法；105×105mm，含水率；10.1~13.2%，密度；0.50~0.52g/cm ³ 床合板：構造用合板（JAS特類2級），厚さ；30mm 4. 試験体数 7体（うち1体は予備試験体） 参照：図-1~図-3（試験体の形状・寸法）
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」の2. 「平成12年告示第1460号に基づく仕口及び継手の試験法，評価法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	短期基準接合引張耐力(P _{0t})：12.9kN 耐力算定基礎資料：表-2 荷重-変位曲線：図-4及び図-5 破壊状況：写真-1~写真-6
試験期間	平成14年10月24日
担当者	構造グループ 試験監督者 橋本敏男 試験責任者 高橋大祐 試験実施者 守屋嘉晃，伊藤嘉則
試験場所	中央試験所